

琉球大学学術リポジトリ

沖縄産飼料の成分調査2

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農家政工学部 公開日: 2011-04-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 松田, 祐一, Matsuda, Yuichi メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/19288

沖縄産飼料の成分調査 II

松 田 祐 一*

Yuichi MATSUDA: Composition of feedstuffs produced in Okinawa. II.

沖縄産飼料の一般成分については、前に報告¹⁾したが、その後に行なった分析結果について報告する。

分析に用いた飼料中、甘蔗梢頭部は、現在、沖縄で最も多く栽培されている品種 NCo 310 の梢頭部を用いた。甘蔗の収穫期は、普通、12 月から翌年 4 月までであるが、この期間は、家畜に給与する青草のもっとも少い時期に当るので、甘蔗梢頭部は、冬季の牛馬用粗飼料として、広く利用されている。この梢頭部は、収穫後、直ちに投与せられるほかに、数日あるいは 1 週間位、堆積保存して投与せられることもあるので、本調査では、出穂前に収穫した場合の梢頭部、出穂後に収穫したもの、および 1 週間堆積保存したものについて、材料を採取分析を行なった。1 週間堆積保存したものは、家畜が好まない枯葉は除去して、青い部分を分析材料に用いた。

ススキ、チガヤ、ハイキビは、沖縄全土の山野に、広く自生し、春夏の候には、成育が早く、牛馬の粗飼料として一般に用いられているが、分析に用いたススキは、高さ、60~100 cm、チガヤは、高さ、55~70 cm の、やや硬化したものであったが、これを乳牛に投与しても、残すことなく全部食い尽す程度のものであった。ハイキビは、高さ、40~70 cm の、出穂前のものであった。

ローズグラスは、農場に栽培された出穂初のもので、乳牛は、好んで、これを食した。

クズは、琉球大学構内に自生しているものと、屋部村の原野に自生しているものを、7 月に採取し、分析したが、両者の間に成分差は、ほとんど、みとめられなかった。

ツルソバ、ハルノノゲシは、大学構内に自生していたもの、レンゲソウは、琉球農業試験場名護支場の水田裏作に栽培されたもので、開花初の若いものを用いた。

材料の採取、調製および分析方法は、農業技術研究所発行の飼料分析法⁴⁾によって行なった。

分析結果は、Table 1 のとおりである。

参 考 文 献

- 1) 松田祐一 1962 沖縄産飼料の成分調査, 琉球大学農家政工学部学術報告, **9**: 295~296.
- 2) 森本 宏・阿部彦郎・堀井 聰・野崎能孝・高野一雄・平野昌三・野辺田 清 1959 飼料の一般成分の分析方法の検討, 農業技術研究所報告, **G. 16**: 1~17.
- 3) 森本 宏・堀井 聰・吉田 実・田中孝之介・野崎能孝・小松昌義 1960 飼料の一般成分の分析方法の検討, 農業技術研究所報告, **G. 19**: 143-151.
- 4) 農業技術研究所. 飼料分析法 (一般成分)

* 琉球大学農家政工学部畜産学科

Table 1 Composition of Feedstuffs.

Feedstuffs	Moisture	Crude Protein	Crude Fat	Crude Fiber	Crude Ash	N-Free Extract	Remarks
甘蔗梢頭部 Sugar cane top, before heading out							品種 NCo 310
dry	12.2%	10.5%	2.4%	26.8%	8.1%	40.0%	
green	78.0	2.6	0.6	6.7	2.0	10.0	
Sugar cane top, in bloom							
dry	10.0	9.4	1.3	29.4	6.2	43.7	
green	68.0	3.3	0.5	10.4	2.2	15.6	
Sugar cane top, in bloom							
dry	11.0	9.8	1.5	28.1	5.5	44.1	
green	67.0	3.6	0.6	10.4	2.0	16.4	
Sugar cane ton, in bloom, one week after harvest.							
dry	10.0	9.0	1.3	30.6	5.7	43.4	
green	67.4	3.3	0.5	11.1	2.1	15.6	
ス ス キ <i>Miscanthus sinensis</i> Anders.							
dry	9.0	11.0	2.1	35.8	7.2	34.9	
green	61.0	4.7	0.9	15.3	3.1	15.0	
チ ガ ヤ <i>Imperata cylindrica</i> var. <i>koenigii</i> Benth.							
dry	9.3	11.4	2.9	35.0	7.4	34.0	琉球大学農場にて採取
green	61.0	4.9	1.2	15.1	3.2	14.6	琉球大学構内にて採取
dry	9.9	8.6	2.8	35.2	8.1	35.4	
green	61.0	3.6	1.2	14.5	3.3	16.4	
ハ イ キ ビ <i>Panicum repens</i> L.							
dry	9.3	13.2	3.1	25.9	7.0	41.5	
green	80.2	2.9	0.7	5.7	1.5	9.0	
Rose grass, in bloom							
dry	9.7	12.3	2.5	35.2	6.8	33.5	
green	78.7	2.9	0.6	8.3	1.6	7.9	
ク Kudzu vine							
dry	10.0	20.0	1.3	30.9	5.7	32.1	屋部村にて採取
green	75.7	4.4	0.3	8.4	1.5	8.7	
ク Kudzu vine							
dry	10.0	17.3	2.2	30.4	6.5	33.6	琉球大学構内にて採取
green	75.2	4.8	0.6	8.4	1.8	9.2	
ツ ル ソ バ <i>Polygonum chinense</i> L.							
dry	10.0	14.7	2.3	18.9	6.9	47.2	
green	82.5	2.9	0.4	3.7	1.3	9.2	
ハ ル ノ ノ ゲ シ <i>Sonchus oleraceus</i> L.							
dry	10.0	22.7	6.0	14.8	12.9	33.6	
green	91.5	2.1	0.6	1.4	1.2	3.2	
レ ン ゲ ソ ウ <i>Astragalus sinicus</i> L.							
dry	12.5	19.0	2.4	14.3	6.7	45.1	
green	90.2	2.1	0.3	1.6	0.8	5.0	

Résumé

In Okinawa, sugar cane tops and wild grasses are generally used as green roughages for cattle and horses. The author analyzed the composition of these feeding stuffs.

The results are shown in table. 1.